



# オンラインでの体育授業研究

Panopto 北海道教育大学附属札幌中学校・柔道 > 【柔道】4時間目 ☆☆☆☆☆ 設定 共有 ヘルプ サインアウト

この録画を検索 🔍

詳細 すべて 👁️ ⬇️

ディスカッション

メモ ブックマーク 非表示

**共同研究P4 齊藤さん** 4:46

フィードバックに関して、「今のどうだった?」「今のここが〇〇だったよ」と生徒自らがフィードバックを求める姿や伝え合うような姿は授業で見られましたでしょうか。こうした姿を引き出したい、またどうすると引き出せるかを考えながら見させていただいておりました。

▶ 3件の返信を表示 · ◀ 返信 · 1ヶ月前

**共同研究P4 飯嶋先...** 4:47

共同研究P4 飯嶋先生(札幌市立向陵中学校) 齊藤さんかおつしゃるよつに、このフィードバックする姿が生徒同士で活発に行われていたのか、興味深かったです。

◀ 返信 · 17日前

**共同研究P4 飯嶋先生(札幌...** 4:47

フィードバックする姿を引き出すことが目的なのか手段なのかは謎。課題が

パブリックコメントを投稿

👁️ 6:15 ▶

▶ ⏪ ⏩ 6:14 -1:27 🔊 ⚙️



柔道授業の映像 (附属札幌中学校)

# オンラインでの体育授業研究

Panopto 北海道教育大学附属札幌中学校・柔道 > 【柔道】4時間目 ☆☆☆☆☆ 設定 共有 ヘルプ サインアウト

この録画を検索 🔍

詳細 すべて 👁️ ⬇️

ディスカッション

メモ ブックマーク 非表示

**共大** 共同研究P4 大巻様（札幌市... 1:10  
出来具合を自分で判断させるのは課題を自分ごとにする手立てになりますね。

▶ 1件の返信を表示 · ⬅️ 返信 · 16日前

**共大** 共同研究P4 網島 凜 1:47  
支釣込足だけ中国語かと思いました。(笑)でも柔道手帳はこの記述なんです。

▶ 1件の返信を表示 · ⬅️ 返信 · 1ヶ月前

**共大** 共同研究P4 飯嶋先生（札幌... 1:48  
この学習課題の引き出し方に、私自身いつも苦慮しています。「よりよくする」ことが教師の思いなのか、生徒の思いなのか、それによって展開部分における学びの勢いが変わります。

▶ 2件の返信を表示 · ⬅️ 返信 · 17日前

パブリックコメントを投稿

👁️ 2:57 ▶



▶ ⏪ ⏩ 2:57 ⏴ ⏵ -4:44 🔊 CC ⚙️

柔道授業の映像（附属札幌中学校）



# オンラインでの体育授業研究

## 授業者たちの振り返り

カテゴリー	サブカテゴリー	具体的な回答例
授業の公開	教師の緊張感	<ul style="list-style-type: none"><li>・オンラインだからこそ、単元全体を見られる。</li><li>・中々、日頃の授業では味わうことのできない緊張感があった。</li></ul>
	生徒の姿	<ul style="list-style-type: none"><li>・動画だと見学している他の先生がいないので巢の生徒の姿を見せることができる。</li></ul>
編集	振り返り	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の姿を客観的に見ることができて編集が楽しかった。</li><li>・自分で動画編集をする中で客観的に振り返り自己評価することができる。</li></ul>
	大変さ	<ul style="list-style-type: none"><li>・動画編集が大変だった。</li><li>・自分が見せたいところにカメラのアングルを合わせるのが大変。</li></ul>
	プレッシャー	<ul style="list-style-type: none"><li>・編集とアップロードが遅れると投稿しなくてはというプレッシャーがあった。</li><li>・授業が全然、うまくいかない時でも配信しなくてはいけない。</li></ul>
コメント	モチベーション	<ul style="list-style-type: none"><li>・褒めてもらえると、もっとやってみようという気持ちになった。</li><li>・コメントが来ると、一人喜びに浸った。</li></ul>
	フィードバック	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の意図していないところに肯定的なコメントが来ると学びにつながる。</li><li>・自分の工夫した所にコメントを頂けると同じことを考えているんだなと自信につながる。</li><li>・座学でオリエンテーションをやったらと違う展開方法のアドバイスをもらった。</li></ul>
	多様な視点	<ul style="list-style-type: none"><li>・普段、関わりのない先生からコメントを頂ける。</li><li>・教師向けのコメントが多く、この生徒の動きいいねなどといった視点のコメントも欲しかった。</li><li>・肯定的なコメントが多く批判的なコメントも欲しかった。</li></ul>



授業実施者の回答は「**授業の公開**」「**編集**」「**コメント**」の3つに分類された。成果として、編集を通じた授業の振り返り、コメントによるモチベーション向上と授業改善への活用が挙げられた一方、撮影・編集の負担や批判的コメントの少なさが課題として挙げられた。

# 本研究課題のまとめ

---

**【成果】** 映像の繰り返し視聴や指定箇所へのコメント入力など対面研修にはないメリットがあり、ディスカッションの焦点化や授業改善の深化、アーカイブの継続活用が期待される。また、授業者の緊張感を保ちつつ生徒の通常の姿を観察できる点も有益であった。

**【課題】** 撮影・編集の負担、コメントのしづらさ、やり取りが全体に示されることへの心理的障壁があり、今後は適切な参加者人数の検討が必要である。



オンライン授業研修システムを活用した映像共有とディスカッションは、時間・場所の制約を超えた協働的な学びの場を提供し、**札幌市における保健体育科教師のPLC構築に有効である**ことが示唆された。